

「普通教育と専門教育の体制整備」の成果・課題，課題への対応方針（案）

1. 成果

高校のタイプ	高校教育改革（制度変更）の趣旨	高校教育改革の趣旨を生かした取組による成果
(1) 普通科	—	<ul style="list-style-type: none"> ●各校の特色づくり ・学校によって学力や進路希望は多様。それぞれの高校では、地域の特性や生徒のニーズ・学力に応じた教育課程の編成，特別活動の実施などを通じて特色ある学校づくりを進めている。
(2) 専門学科 （職業系）	—	<ul style="list-style-type: none"> ●職業教育や体験学習を通じた学力の定着 ・工業学科では，県政の施策の推進方向に呼応した職業教育・人材育成（社会人講師からの技術指導や企業実習など）を実施しており，その効果が技能検定合格者数や資格取得者数の増加に表れている。また，進路希望達成率（就職）も高い。
(3) 総合学科	<ul style="list-style-type: none"> ●学校選択の拡大 ・進路の定まらない生徒が普通科目と専門科目の両方を学ぶことにより，各自の適性や進路を見定めることができる学科として，各地区に総合学科を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習意欲の向上，進路意識の醸成 ・幅広く開設された選択科目の中から生徒それぞれの興味・関心，適性や目標とする将来の進路に応じて科目を選択，学習することで，学習意欲の向上や進路意識の醸成につながっている。
(4) 昼夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な生徒への対応 ・多部制，三修制（修業年限3年）により，生徒の多様なニーズに対応する。 ・全日制課程からの転入学者や中退者のほか，不登校傾向のある生徒や生活習慣の確立していない生徒が学ぶ場としての役割も担う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な生徒への対応 ・教育課程の柔軟な編成（多様な選択科目や学校設定科目の開設，義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための学習機会の設定等）や指導上の工夫（少人数指導等）により，個々の生徒に対してきめ細かな指導が行われている。

2. 課題と課題解決の方向性

高校のタイプ	課 題		課題解決の方向性 (検証報告書での提言案)
	学校の状況	施策（教育環境の整備）	
(1) 普通科	<ul style="list-style-type: none"> ●学力の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・普通科では、在籍する生徒の学力に応じて学力定着の取組を行っている高校が多いが、全県的な取組まで至っていない。学力が中位以下の生徒の底上げが課題。 ●勤労観・職業観の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・就職志望の生徒が多い高校では、職業科目の履修やインターンシップを実施している高校が多いが、全県的な取組まで至っていない。 ・また、高校卒業後の進路希望が「未定」と回答した割合が高い高校については、生徒の実態に対応したきめ細かなキャリア教育・進路指導が一層必要になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・普通科に在籍する生徒の進路志望は様々であることから、「高等教育機関への進学準備」を重視する課程、「社会人・職業人となるための教育」を重視する課程、その中間的な高課程など、教育課程の複線化が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各高校においては地域における高校の役割や生徒の特性を見定めた上で教育課程を編成する必要がある。 ○特に、就職志望の生徒が多い高校については、社会人・職業人として必要な学力を定着させることが重要であり、職業教育による実習やインターンシップなどの体験学習を積極的に導入するなどの取組が必要。 ○また、学力・意欲の面で課題がある生徒に対しては、義務教育段階での学習内容の確実な定着や、学校の学習と社会とを関連づけた教育の実践が望まれるが、一つの方策として、これらの教育に特化した高校の設置が考えられる。
(2) 専門学科 (職業系)	<ul style="list-style-type: none"> ●学力の保証・出口の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・工業科以外の学科においては、出口の確保の点で課題が大きい。また、職業教育の内容と就職する業種の関連性が低い傾向があり、生徒にとって卒業後の進路が見えにくくなっていると懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職業教育の目的の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・求職希望と求人希望とが適合しなくなっている。高校の職業教育が産業構造や雇用環境のめまぐるしい変化に追いついていくことが可能か否か、変化にどこまで対応していくべきか否かを明確にした上で学科改編をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校の職業教育において、どのような人材を育成していくかを見定めることが重要であり、新たに設置すべき学科も含め、検討が必要。 ○普通科・専門学科ともに、学校の学習と社会とを関連づけた教育が重要であり、学科ごとの職業教育及びキャリア教育の在り方を見定め、学科改編や教育課程の編成に反映させることが重要。
(3) 総合学科	<ul style="list-style-type: none"> ●学力の保証・出口の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の授業や進路指導に対する満足度は他学科に比べて著しく高いが、進路希望達成率(就職)は、職業系専門学科ほどは高くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合学科の制度趣旨の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・「幅広く開設された選択科目の中から各自の興味・関心、適性や目標とする将来の進路にあわせて科目を選択し・学習する」という制度趣旨を実現するためには、一定以上の学級規模・教員数を維持するなどの教育環境の整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○制度改革をして新たな仕組み・枠組みをつくただけでは成果が上がらず、制度にふさわしい教育環境の整備が必要であることから、学校評価等を通じてモニタリングをし、必要な措置を講じていくことが必要。
(4) 昼夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なニーズを持つ生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズを持つ生徒に対して、個に応じたきめ細かな指導が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域バランスを踏まえた昼夜間定時制高校の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜間定時制高校のニーズは高いが、南部地区には昼夜間定時制がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昼夜間定時制高校の県内配置状況をみると、南部地区には設置されていないことから、当該地区における昼夜間定時制高校の設置に向けて検討すべき。 ○新設に当たっては、学校の学習と社会とを関連づけた教育の一層の充実を図ることが重要。 ○進路変更等の理由による転入学や中途退学者の受入体制を強化するとともに、不登校経験者など多様な生徒が学ぶための教育環境を一層充実させることが必要。

